

**街づくりのDX(デジタルトランスフォーメーション)を実現する新組織  
「デジタルプラットフォーム準備プロジェクト」(Urban Hacks)を設立**

東急株式会社

当社は、お客さまの快適で充実したライフスタイルの実現に向けて、街づくりにおけるDX(デジタルトランスフォーメーション)をより加速させるため、7月1日付で新組織「デジタルプラットフォーム準備プロジェクト」(Urban Hacks)(以下、本プロジェクト)を設立しました。

近年、デジタル技術の進歩で、人々の暮らしは格段に便利で快適なものへと、めまぐるしいスピードで変化しています。鉄道を中心とした街づくりを推進してきた当社および当社グループは、各社でデジタル技術を積極的に導入し、それぞれのサービス価値向上を目的とした展開を行ってまいりましたが、当社グループのリソースを十分に活用・共有化しきれておらず、また、それを推進する専門人材が不足していることが課題の一つとなっていました。

そこで、今般、新たに人材をむかえ、街づくりのDX専門組織として本プロジェクトを設立し、当社グループのデジタル領域への投資を集中させることで、各事業でのデジタルリソースの有効活用、事業間の共通利用を実現し、投資効果の最大化を図ることを目指します。

本プロジェクトで最初に取り組むのは、人々の暮らしと直結する「街づくりDX」の実現に向けた、当社グループを連携したデジタル開発の推進です。当社グループの幅広い「リアル」なサービスをデジタルの体験と融合させ、生活や仕事、エンターテインメントなど各事業間を横断するサービスおよびアプリケーションを提供します。

また、グループ各社が展開するリアルとデジタルのサービス導線をお客さまにとって最適な形でデザインし、より快適で充実したライフスタイルの提供を目指し、徹底した顧客視点からの設計とスピーディーな商品化、市場投入後もお客さまからのフィードバックをもとにサービスを継続的に改善し、事業戦略からプロダクトまで一貫した自社でのアジャイル開発を行います。

本プロジェクトでは、当社が目指す「街づくりDX」に挑戦したいエンジニアやデザイナーなどを広く募集し、本年度中の組織化と開発に着手することで、当社グループの幅広い「リアル」なタッチポイントをこれまで以上に活用し、継続的なお客さまの体験価値向上の実現に向けて、「デジタル×リアル」を駆使したサービス展開による「街づくりDX」の推進を加速します。

詳細は別紙の通りです。Urban Hacksホームページはこちら：<https://10Q89S.jp/>

以上

An aerial night view of a city, featuring a prominent skyscraper with a grid-like facade and illuminated windows. The city lights and streets are visible in the background. The text 'URBAN HACKS' is overlaid in large, bold, orange letters.

URBAN

HACKS

TOKYU CORPORATION

## プロジェクトオーナー

### SHUSUKE SEAN MIYAZAWA 宮澤秀右

2015年までソニーグループの各社で勤務。最後の5年間は、スウェーデンのソニーモバイルで、ウェアラブルやIoTプロダクトのUXデザイン/企画統括を務める。

その後日本に帰国。IoT化による自動車業界の革新を予想し、その年に日産自動車に入社。2016年から、ルノー日産アライアンスの接続テッドカーサービスデザインを統括しながらデジタル内製化組織の立ち上げを実行し、2019年から日産の接続テッドカーSW&UX開発を統括。

2021年4月に、デジタルをフル活用したまちづくりの実現を目指し東急に入社、7月より現職。



## Vision

東急グループの資産をハックして、  
より豊かな暮らしをつくる。

東急線を利用する人は、年間11億人を超える。<sup>※1</sup>

東急線沿線に暮らす人は、500万人を超える。<sup>※2</sup>

鉄道、ホテル、百貨店。映画館、スーパー、ブロードバンド。

警備、カード、ウェルネス事業、ふるさと納税、電力会社。

東急グループのリソースはまだまだ活かさきれていない。

テクノロジーによる街づくりは、たくさんの可能性に満ちている。

人の暮らしと直結するデジタルトランスフォーメーション。

東急は「街づくり」のDXに挑戦します。

※1 2019年度実績

※2 東急線の通る17市区と定義

 東急グループ

URBAN  
HACKS  
TOKYU CORPORATION

東急株式会社、特別組織によるデジタルチームの発足  
東急線沿線の顧客とビジネスのために、徹底した顧客視点でグループを  
横断するサービス開発、体験設計を実行するプロセス・組織体制を実現



など

## プロジェクトの活動方針

1.

年間11億人が利用する都市のデータを使い  
「人の暮らし」に繋がるエンジニアリングを実現。

※1

2.

大企業のスケールと、スタートアップの機動力。  
大企業の安定性と、スタートアップの挑戦力。

3.

事業戦略から、プロダクトまで。  
徹底した「内製開発」で意味あるサービスを。

# 1.

年間11億人が利用する都市のデータを使い  
「人の暮らし」に繋がるエンジニアリングを実現。

東急グループのもつ莫大な顧客接点は活用しきれていない宝の山である。  
そこには、デジタルだけでなく、リアルな顧客基盤も。それらを、うまく  
シンクロナイズして、今までにない新しい顧客価値を創造する。

グループ企業

200

社超<sup>※3</sup>

沿線住民

500

万人超<sup>※2</sup>

東急線利用者

11

億人超/年<sup>※1</sup>

※1 2019年度実績  
※2 東急線の通る17市区と定義  
※3 東急(株)連結、東急不動産HD  
連結、東急建設連結、世紀東急工  
業連結の会社数を合算した数値

## 2.

大企業のスケールと、スタートアップの機動力。  
大企業の安定性と、スタートアップの挑戦力。

実力本位なカルチャーを作り、グループの顧客接点をフル活用する。  
エンジニア、デザイナーが技術と才能を、自由に生かす環境を整える。

東急グループのネットワーク

東急グループの顧客接点

特別組織の機動力

チャレンジングなマインドセット



# 3.

事業戦略から、プロダクトまで。  
徹底した「内製開発」で意味あるサービスを。

一貫した内製開発を実現し、各事業と連携して顧客と寄り添いながらスピーディに完成度高く作っていく。

各領域のプロフェッショナルを揃え、一つのチームとして機能する。

エンジニア

X

デザイナー

X

プロダクト  
マネージャー

CTO候補/テックリード  
エンジニアリングマネージャー  
スマートフォンアプリエンジニア  
アーキテクチャデザイン

デザインマネージャー  
サービスデザイナー/UX  
UIデザイナー

PdM(プロダクトマネージャー)  
PO (プロダクトオーナー)

## プロジェクト活動拠点（勤務地）



WeWork  
渋谷スクランブルスクエア

テクノロジーによる街づくりは、  
まだまだ可能性に満ちている。

街づくりと言えば、建設や建築を思いうかべるかもしれませんが。  
しかし、今ソフトウェアが急速に進化する世の中で、  
ソフトウェアを活用した街づくりを行えば、  
街はもっと暮らしやすく、快適に変わります。  
お客さまの快適で充実したライフスタイルの実現に向けて、  
「デジタル×リアル」を駆使したサービス展開による  
「街づくりDX」の推進を加速します。

<https://10Q89S.jp/>



## 目指すのは、技術者の理想郷。



エンジニア、デザイナー個人に宿る技術や想いが、人を豊かに、街を便利にしてくれる。私はその可能性を信じています。だから、まずは最高のフィールドづくりに注力します。この組織では、国籍も、性別も、年齢も、学歴も、服装も、髪型も不問。大企業的な忖度は一切なし。実力本位で情熱優先。それぞれの人格を重んじて個性を尊重します。大事なのは自由な挑戦心が制限されないこと、そしてそれを支える最先端の開発環境が準備されていることです。東急グループの資産を生かした独自の組織体制、福利厚生、カルチャーで、技術者の理想郷を作りあげていきます。

そして、その先に目指すのは、東急線沿線を「世界一住みたくなる沿線」にすること。東急線沿線は年間11億人以上が使用する日本一の経済圏。誇張でもなんでもなく、私が海外でみてきた都市と比べても、この東京という街は、世界に新しい価値を発信できるとも大きなポテンシャルを秘めています。東急グループがもつリアル・デジタルに横断する莫大な顧客接点と、情熱を持った自由な技術者が混じり合えば、最高の街づくりを実現できるはず。創立99年目で手掛ける大プロジェクト、この1年が東急グループの次の100年を変革していきます。